

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ルツの  
ラブストーリー



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Janie Forest

かいさくしゃ

改作者: Lyn Doerksen

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2007 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



みなさん、ちょっと、そうぞうしてみてください。もし、みなさんが、ひいおじ  
いさん、ひいおばあさん、そのまたおじいさん、おばあさん、そしてもつともつ  
まえ い かぞく ひと あ  
と前に生きていた家族のすべての人に会ったとしたら、みなさんはきっとびっく  
かぞく むかし ひと ひと  
りするでしょうね。「わたしの家族のずっと昔の人たちは、こんな人たちだっ

たんだなあ。」って。せいしょ ひと せんぞ  
聖書には、人としてのイエスさまの先祖  
ひとり ひと

の1人にルツという人がいます。ルツは、そのむかし、ほん  
かみ し ぞう れいはい  
とうの神さまを知らないで、ぐう像を礼拝していた

じん  
モアブ人でした。



はなし

い

じだい

このルツのお話はね、サムソンが生きていた時代のあとにはじまるのですよ。

かみ

たみ

ひとびと

かみ

そのころ、神さまの民イスラエルの人々は、神さまからすっからはなれていましたので、

かみ

しん

神を信じること、したがうこともやめてしまっていました。さて、その

ち

イスラエルの地に、ひどいききんがやってきたのです。みなさん、ききんって

なに

し

何でしょう。知っていますか。そう、そのとおりです。

ムギやトウモロコシなどのこくもつや、くだものなど

なに

た

そだ

何ひとつ食べるものが育たないことです。だからき

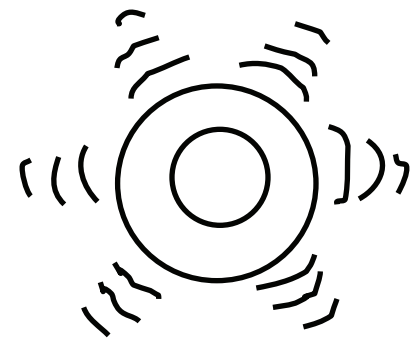
どうぶつ

にんげん

きんになると、動物も、人間たちも食べるものがなく

し

おなかがすいて死んでしまったのです。

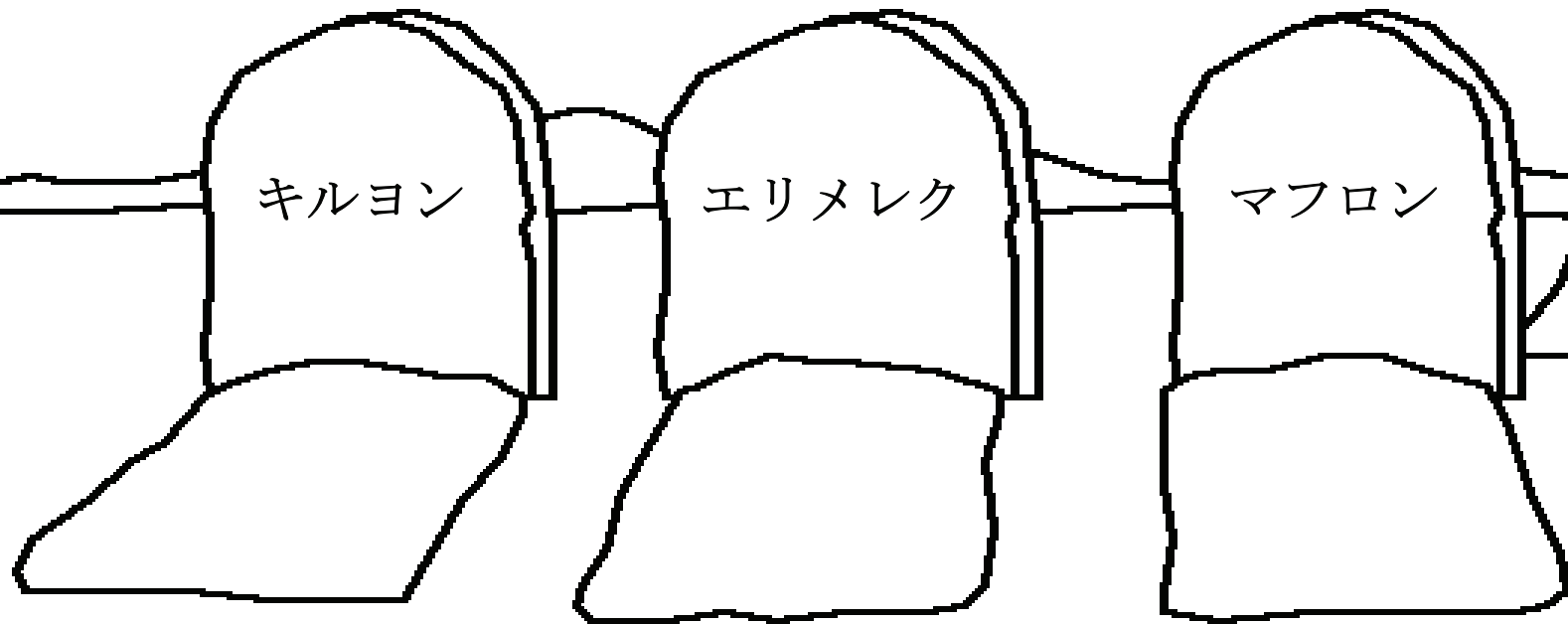


そのころ、ベツレヘムにエリメレクという人がいました。かれもまた、食べる  
ものがありません。そこで、おくさんと2人のむすこをつれ、ベツレヘムをは  
なれることにしました。食べるものをさがし求めて、かれらはモアブという所  
にたどりつきましたよ。そこの人々は、ほんとうの神ではなく、  
ぐう像を礼拝していました。



エリメレクと、  
かれのおくさんや

むすこたちは、ここモアブに住みましたが、そこでは、  
かれらは幸<sup>しあわ</sup>せにくらすことはでき<sup>かな</sup>ませんでした。悲<sup>し</sup>しいことに、  
エリメレクが亡<sup>な</sup>くなり、つづいて2人のむすこも死<sup>ふたり</sup>んでしまったのです。



エリメレクのおくさんナオミは、2人のむすこたちのおくさん、  
ルツとオルパといっしょに、1人モアブに残<sup>ひとり</sup>されてしまいました。  
亡<sup>な</sup>くなったむすこたちのおくさん、ルツとオルパはモアブの人<sup>ひと</sup>でしたよ。



おっと な いま しゅ  
夫も亡くなり、ナオミは今ひとりぼっちです。そのときナオミは、主がかれの  
こくみん こ ひとひと た もの あた はなし  
国民のところ、イスラエルに来られ、人々に食べ物を与えられているという話

き じょ  
を聞きました。そこで、かの女は、ふるさとイスラエルにもど  
き ふたり わか  
ろうと決めたのです。でも、2人のまだ若いルツやオルパは  
いったいどうしたらいいのでしょうか。ナオミは、かれらにこ

い  
う言いました。「ルツ、  
オルパ、わたしはイスラ  
エルにもどります。  
でもあなたたちはま  
わか  
だ若いでしょう。  
だから、モアブに  
のこ  
残って、もうい  
けっこん  
ちど結婚してし  
あわせになって  
くださいね。」



そこで、オルパは自分のお父さんとお母さんの家にもどっていきました。

でもね、ルツはどうしたでしょう。「いいえ、わたしは、

父や母のところにはもどりません。あなたは、わたしの亡くなった夫のお母さ

んです。だから、今はわたしのお母さんです。

どうぞいつまでもあなたについて行かせてください。」

心やさしいルツは、

ナオミにこのように言って、  
いっしょに生きていくこと  
をやくそくしました。



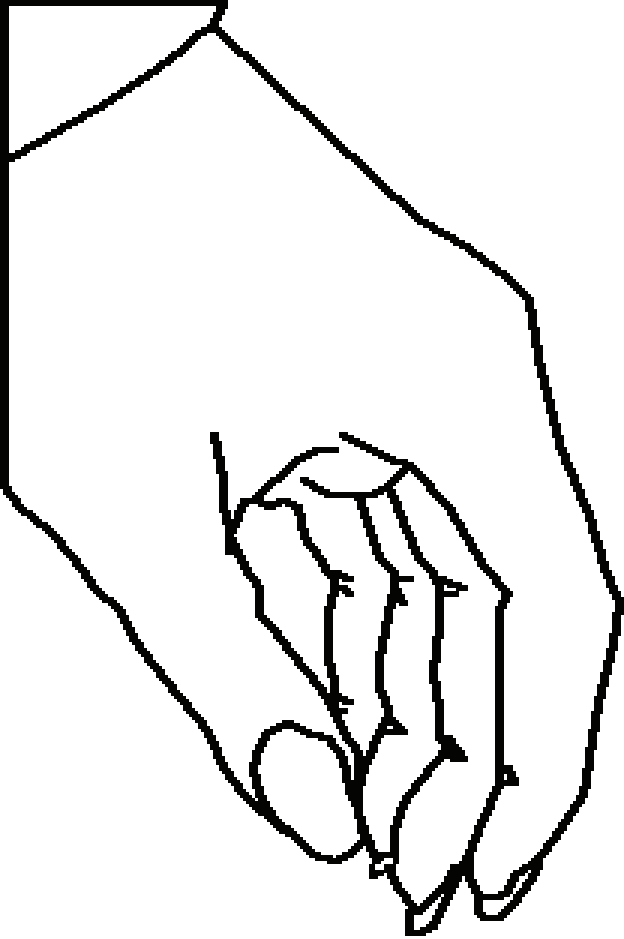


ナオミのむかしの友だちはみんな、かの女がベツレヘムにもどってきたので、  
おおよろこび。けれどもナオミは、友だちにこのようにたのみました。

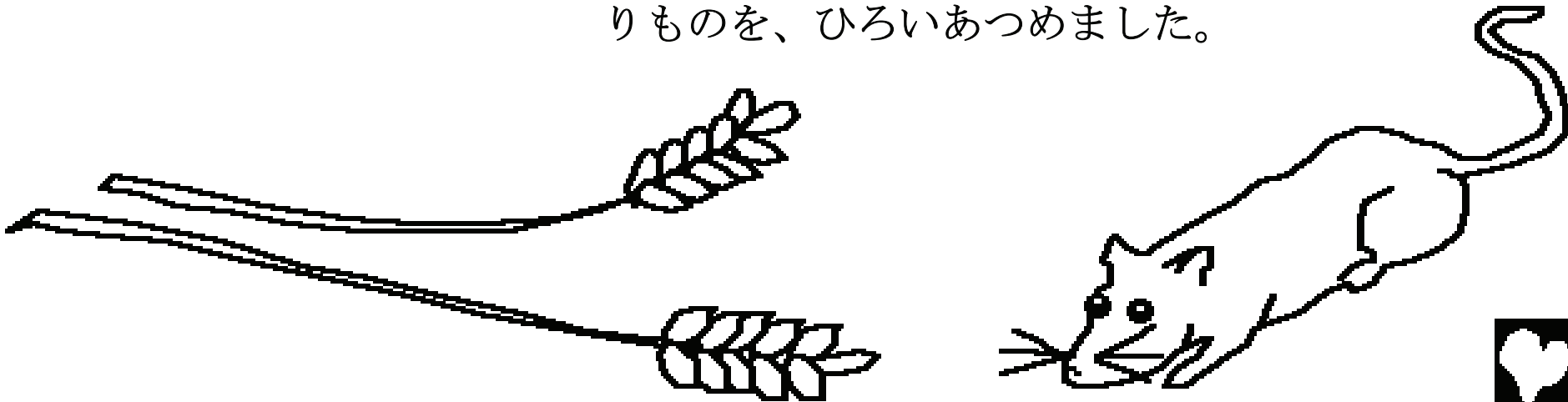
「これからは、わたしをマラ（<sup>にが</sup>苦い）  
って呼んでください。ナオミ（<sup>よ</sup>よろこび）  
のかわりにね。」そしてまた、<sup>い</sup>言いました。  
「なぜなら、何でもおできなる主なる神が、  
わたしにととてもきびしくされたので、  
わたしはひどく苦しんだからです。」

ナオミは何もかも失って、  
1人ぼっちで自分のふるさとにも  
どってきたのです。—ただ  
ルツだけは いっしょで  
したけれどね。





く ぞう  
ここイスラエルへ来るまえ、ルツは、ぐう像を  
れいはい ひとひと  
礼拝していました。モアブのほとんどの人々がそ  
いま  
のようにしていましたがね。けれども今、イス  
い かみ  
ラエルの生きていらっしゃるほんとうの神さまを  
れいはい  
礼拝するようになりました。ルツはいっしょうけ  
はたら  
んめい働きました。ナオミがじゅうぶんにごは  
た  
んを食べることができるようにね。ルツは、まい  
ばたけ で い か い しごと  
にち畑へ出かけて行き、刈り入れの仕事をして  
ひと ある か と のこ  
いる人のあとについて歩き、刈り取ったあとの残  
りものを、ひろいあつめました。





はたけ ぬし ひとり

畑のもち主の1人にボアズとい  
ひと

う人がいました。かれは、ルツが  
じぶん な おっと

自分の亡くなってしまった夫の  
かあ

お母さんにどんなにやさしくして  
き

あげているかを、聞きました。あ  
あ

るとき、ボアズはルツに会い、か  
じよ たす おも

の女を助けてあげたいと思いまし  
か い しごと

たよ。そこで、刈り入れの仕事を  
ひと い

している人たちに言いました。

「ムギをぜんぶ刈り取ってしまわ  
か と

ないで、ほんの少しだけ残してお  
すこ のこ

いてください。」ボアズは、この  
あ

やさしいルツに会って、だんだん  
す

好きになっていきました。





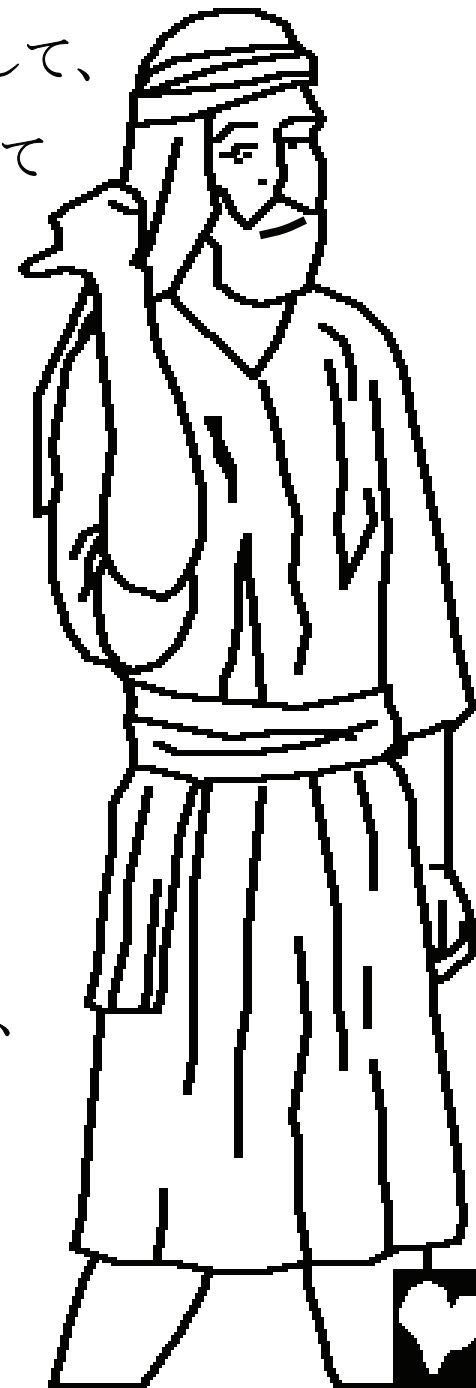
ルツは、ナオミにボアズ  
しんせつ  
がどんなに親切にしてく  
はな  
ださっているか話します  
しゅうとめ  
と、お姑さんのナオミ  
かみ  
は、神さまをほめたたえ  
い  
てこう言いました。「ル  
ひと  
ツ、その人ボアズはね、  
しん  
わたしたちの親せきです  
いちぞく  
よ。わたしたちの一族の  
おとこ ひと ひとり  
男の人の1人なのす。」





とき けっこん  
時がたつにつれて、ボアズはルツと結婚して、  
じよ とち  
ナオミもかの女の土地も、めんどろをみて  
おも  
いきたいと思うようになり  
しん  
ました。でもね、ナオミの親せ  
なか  
きの中に、ボアズより  
ちか しん おとこ  
もっと近い親せきの男の  
ひと  
人がいました。そして、

ひと なん さき  
その人がまず、何でも先にえらぶことができるのです。  
ひと い とち  
その人はこう言いました。「ナオミの土地はほしいな。  
でもルツは、おくさんにしたくないよ。」けれどもそ  
ほう ひと う と  
のころの法りつでは、その人は1つのものだけを受け取り、  
ひと う と  
もう1つのものを受け取らないということは、できませ  
ひと じぶん けんり  
んでした。そこで、その人はボアズに自分の権利をゆず  
ることにしました。



じだい その時代、イスラエルの人々は話し合いがうまくいったとき、今のようにあく手  
ひとびと はな あ しま しゅ  
をしなかったのですよ。では、どうするのでしょうか。ボアズはみんなの前で、  
まへ  
じぶん ぬ おとこ ひと まえ  
自分のくつを脱いでもうひとりの男の人の前におきました。これで、  
はな あ  
話し合いがうまくいったということなのです。こうして、  
いま  
ルツはボアズのおくさんになりました。今、  
かぞく  
ルツとナオミは、ボアズの家族なのです。





ボアズとルツは、  
かれらの初めのむすこをオベドと  
よ  
呼びました。じつは、オベドは  
ダビデのおじいさんなのです。  
ダビデはイスラエルのりっぱ  
おう  
な王さまになりましたよ。

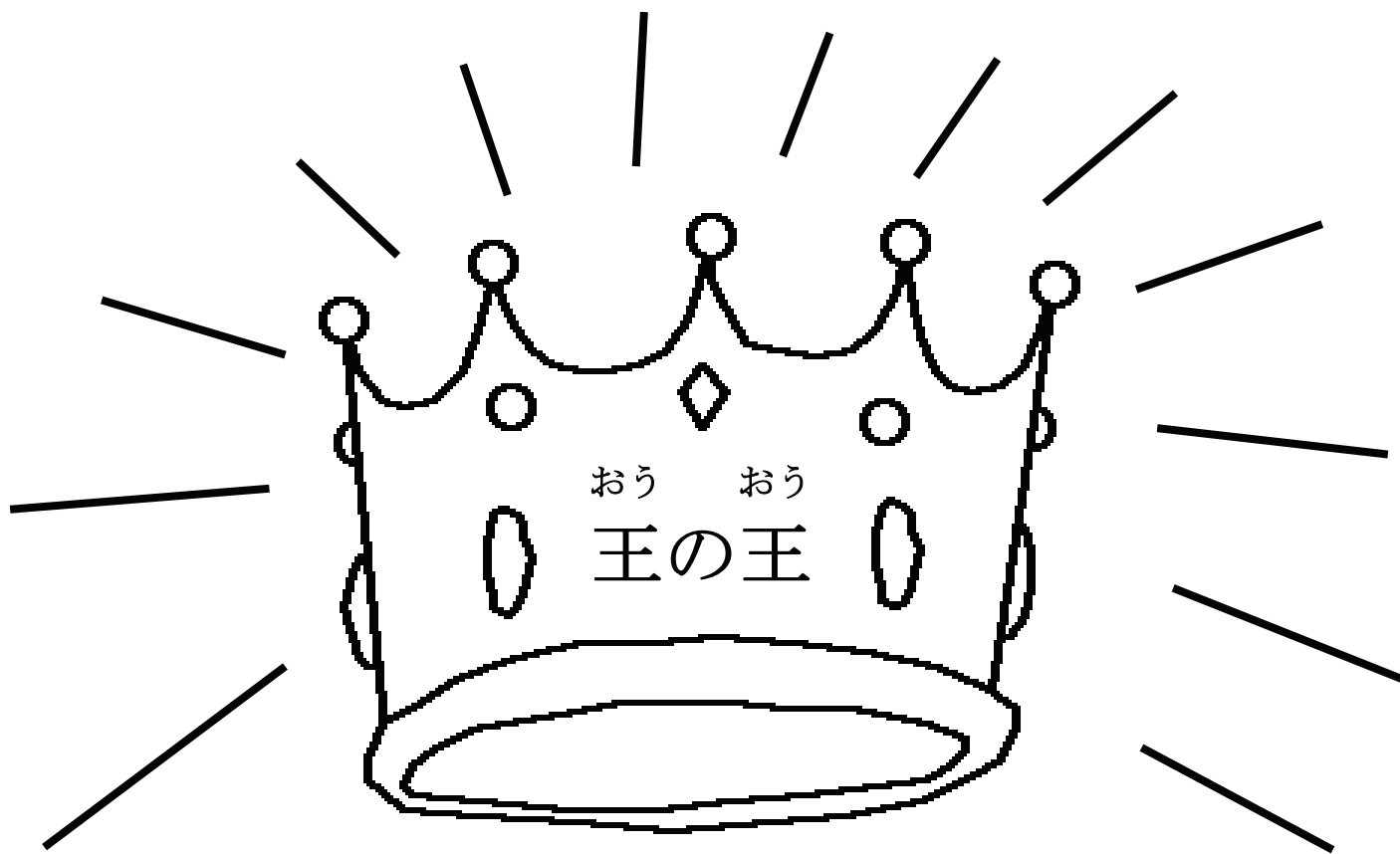


みなさん、ここでもっともっとすばらしいお話をしまししょうか。<sup>はなし</sup>

ルツとボアズ<sup>あか</sup>の赤ちゃんオベド<sup>しゆ</sup>は、主イエス<sup>せんぞ</sup> キリストの先祖だったのです。

王<sup>おう</sup>の王<sup>おう</sup>であり、この世<sup>よ</sup>の救い主<sup>すくぬし</sup>であるイエスさまは、

じつはこのダビデ<sup>いえ</sup>の家<sup>う</sup>から生まれられたのですね。





# ルツの ラブストーリー

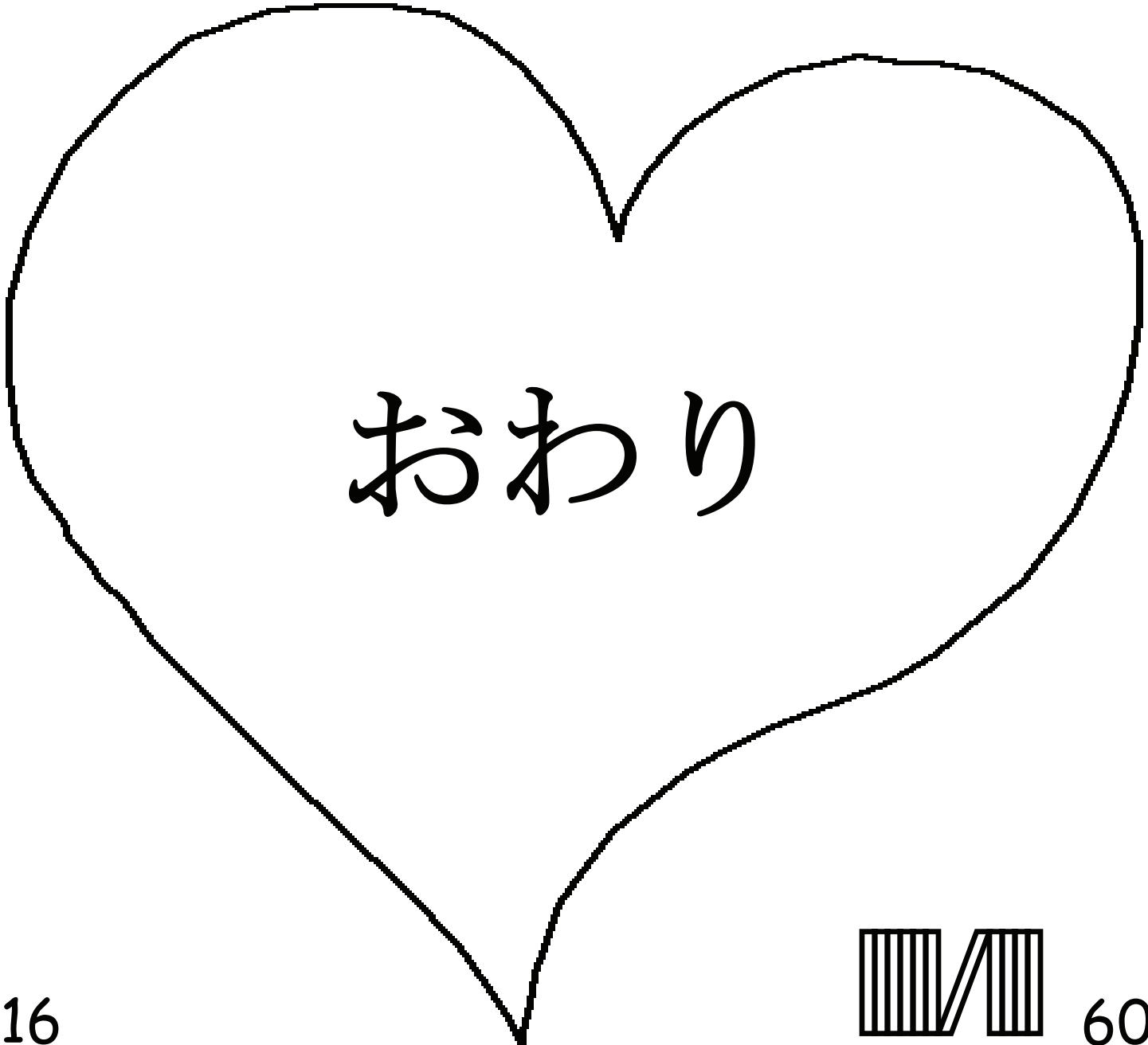
かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

き  
ルツ記

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130





おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死しです。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとも愛あいていらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世に送つってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架じ上で亡なくなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来こて、あなたのところころの中ちにすんでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっっしょに生いきることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこういってくださいます。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛あいするかみ、私わたしは、あなたが神さまと信しんじます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡なくなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生いきて  
いらっしゃいます。どうか、私のところころの中ちに来て、罪をゆるしてくださいます。それで、私は今、あた  
らしい命いのちをいただけます。そして、いつか、あなたの所ところへい行き、いつまでもあなたといっっしょにいる  
ことこといができるのです。あなたにしたがいえますよう、あなたの子ことして生いきることができますよう、たす  
けてくださいます。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

